タマネギ

科名	ユリ科
原産地	中央アジア 地中海沿岸
連作障害	あり(1~2年)

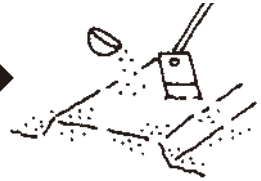
制作
JAファーム店長会
(無断転載禁止)

1 畑の準備・種まき

土作り 種まきの2週間前までに苦土石灰、堆肥をまき深く耕します。



元肥・うね立て 種まきの1週間前までに元肥をまき、うね立てを行います。

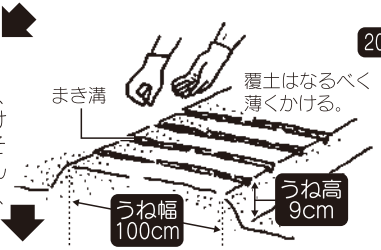


土作り
- JAファーム粒状苦土石灰：1㎡あたり100~150g
- JAファーム牛ふん入りパーク堆肥：1㎡あたり2~3kg

元肥
- JAファームねぎ・玉ねぎ専用肥料：1㎡あたり80~100g(ひと握り約40~50g)

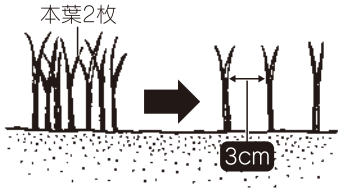
種まき・苗床作り

苗床表面の土は細かく砕いておいて、種は、**5~6cm間隔**にまき溝をつけて条まきして、薄く覆土します。そして切りわらをかけて、十分にかん水をしましょう。寒冷紗をかけた時は、発芽したら取り除いてください。



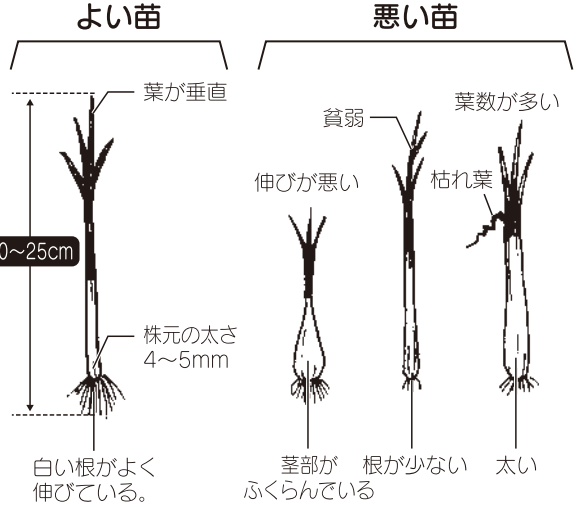
苗床追肥と間引き

本葉2枚になったら3cm間隔に間引きます。肥料切れがみられた場合は、植え付け前に野菜専用液肥を追肥しましょう。



2 苗の選び方

苗はあらかじめ苗床に水をやり、できるだけ根を切らないように抜き取ります。



3 植え付け

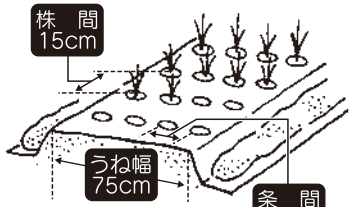
植え付けが早すぎると、とう立ちし、遅れると越冬中に凍み抜けが多く発生しますので、産地の植え付け時期を十分に確認して作業を行いましょう。

条植えの場合 苗を配置後土をかけ、足で株元を踏みつけて、根を土になじませます。



マルチ栽培の場合

割りばしで、穴を開け苗を植えます。



植え付けの深さに注意!!

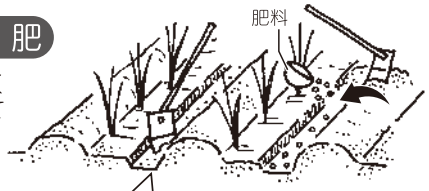


土に緑葉部が隠れる程、深植えすると、伸びが悪くなるので注意。

4 追肥

条植えの追肥

列に沿ってくわで軽く溝を作り、肥料をまいて土をかぶせておきます。



●第1回目追肥(12月中・下旬)	・JAファームやさいの追肥S：1㎡あたり約20g
●第2回目追肥(2月末~3月上旬)	※3月上旬を過ぎてからの追肥は、収穫後の貯蔵性が落ちるので注意!!

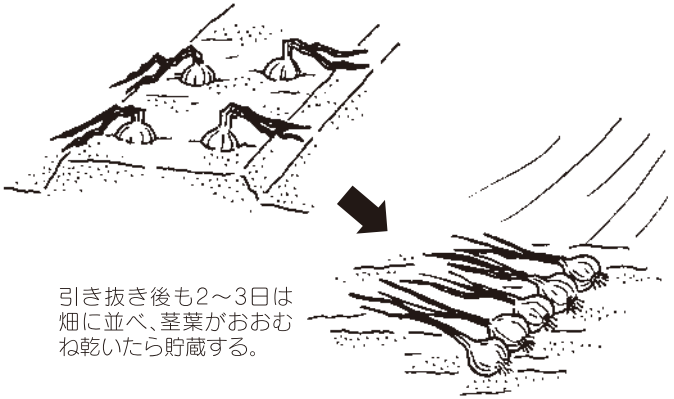
マルチ栽培の追肥

株元に肥料をまき、割りばしなどで軽く土に混ぜ込んでおきます。



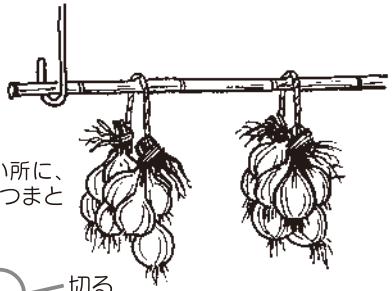
5 収穫・貯蔵

収穫 葉の約8~9割が倒伏して、枯れ始めた頃に、天気のよい日を見計らって全部引き抜き収穫しましょう。



引き抜き後も2~3日は畑に並べ、茎葉がおおむね乾いたら貯蔵する。

貯蔵



風通しのよい所に、5玉くらいずつまとめて吊るす。



吊るす場所がない時は、茎葉と根を切除して網かごに入れ、風通しのよい所に置く。